

第二次いわき市こどもみらいプランの総括について



令和6年6月25日 こどもみらい課



現行計画の総括について

第1回分科会(5/30)

- ◎ 子どもの意見表明の確保に向けた取組みについて
- ◎ 令和6年度のスケジュールについて

第2回分科会(6/25)

◎ 現行計画の総括(今回)

- 計画の第4章を中心に
 - ・本市の人口動態や幼保施設数等の推移について説明
 - ・各基本目標の基本施策から重点的な事業について、実績や課題、今後の対応策等について説明
- ⇒ 質疑・応答(スライド資料に掲載のない事業等を含む。)

- 今後、第2回分科会での意見を踏まえ、アンケート調査の集計結果や次期計画の骨子案等とともに、改めて本分科会で現行計画の総括を実施し、こども計画に「前計画の総括」として記載。 ※現行計画を参照。

第3回分科会(8月下旬)

- ◎ アンケート調査の結果について
- ◎ 次期計画の骨子案と基本理念について(2回目)
- ◎ 需給計画について(1回目)

第4回分科会(10月中旬)

- ◎ 次期計画の骨子案と基本理念について(2回目)

第5回分科会(11月下旬)

- ◎ 次期計画の素案について(1回目)
- ◎ 需給計画について(2回目)

第6回分科会(2月中旬)

- ◎ 次期計画の素案について(2回目)

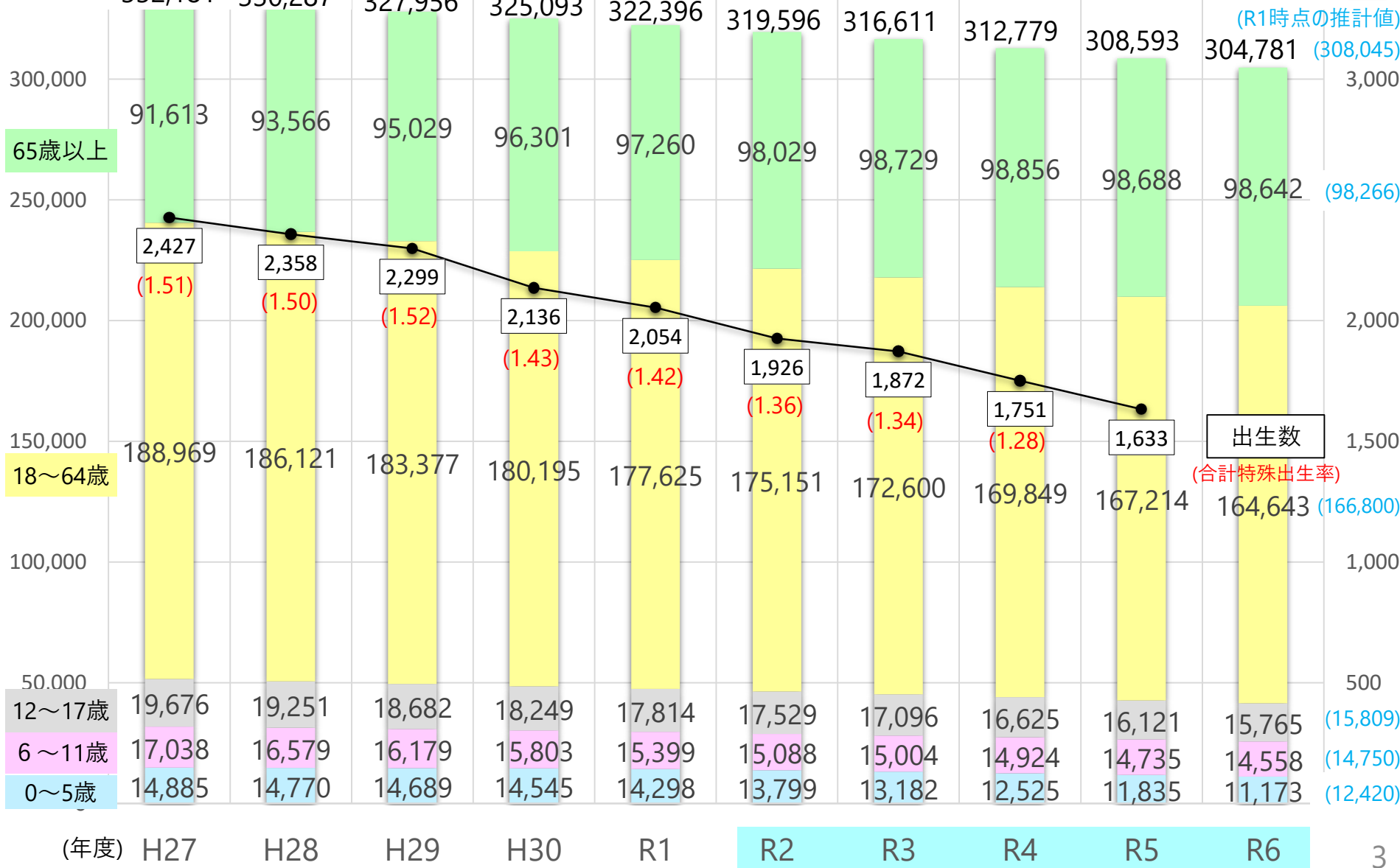
第7回分科会(3月中旬)

- ◎ 計画策定について(2回目)

1 本市の年代別人口及び出生数の推移

4/1時点人口(住民基本台帳より)

(人)



2 本市の幼保施設の施設数及び在園者数の推移

施設数(箇所)

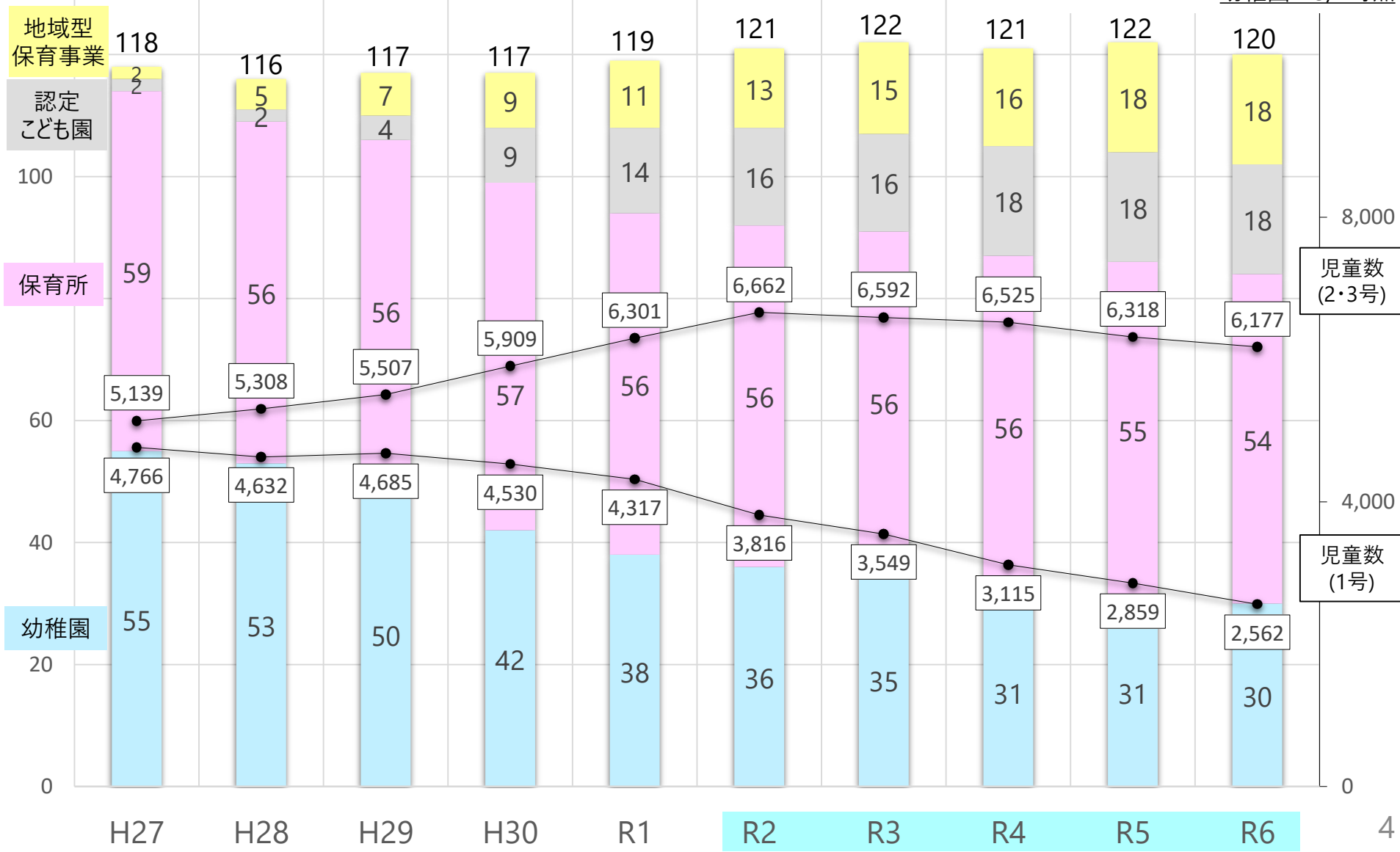
4/1時点

在園者数(人)

保育所・認可こども園

4/1時点

幼稚園：5/1時点



～基本理念～ 子どもまんなか 笑顔と夢が広がるまち いわき

<基本目標Ⅰ> 安心して子どもを産み育てるために

- ＊ 基本施策Ⅰ－１ 安心して妊娠・出産・子育てができる環境の整備
- ＊ 基本施策Ⅰ－２ 就労と子育ての両立支援

<基本目標Ⅱ> 子どもが健やかに育まれるために

- ＊ 基本施策Ⅱ－１ 健やかな心が育まれるための支援
- ＊ 基本施策Ⅱ－２ 子どもが健康に育つための支援
- ＊ 基本施策Ⅱ－３ 切れ目のない療育支援
- ＊ 基本施策Ⅱ－４ 確かな人間力を育む教育の推進

<基本目標Ⅲ> 支援を必要とする子どもとその家庭のために

- ＊ 基本施策Ⅲ－１ 児童虐待防止対策の推進
- ＊ 基本施策Ⅲ－２ 子どもの貧困対策の推進
- ＊ 基本施策Ⅲ－３ ひとり親家庭等への支援

<基本目標Ⅳ> 子育てを地域全体で支えるために

- ＊ 基本施策Ⅳ－１ 共創による子育て支援
- ＊ 基本施策Ⅳ－２ 子育て支援に関わる人材の育成

3-(1) 基本施策 I - 1 安心して妊娠・出産・子育てができる環境の整備 こどもまんが

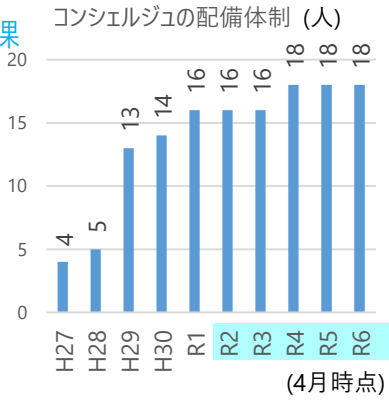
○「母子保健コンシェルジュ」と「子育てコンシェルジュ」の配備 (P32 / No1) こどもみらい課

実績

市内 7 地区の保健福祉センターに相談窓口を設置し、相談件数に応じて増員するなど、相談体制を拡充した。

課題・対応策

制度の認知度が不十分
⇒ 窓口以外での活動を通して情報発信や認知度アップを



○子育て情報をわかりやすく発信 (P32 / No7) こどもみらい課

実績

「こどもみらいBOOK」、
「いわき市子ども子育て支援サイト」、
「いわきおやCoCoアプリ」による発信

課題・対応策

「見やすさ」や「わかりやすさ」に課題
⇒ 発信媒体のリニューアルや掲載内容の改善を



○「不妊・不育症専門相談」 (新規事業) こども家庭課

実績

専門医・不妊カウンセラー等による不妊・不育症専門相談の開催

課題・対応策

市内に不妊の専門職が少なく、相談できる場所がない
⇒ 相談体制の維持、充実



3-(2) 基本施策 1-2 就労と子育ての両立支援

○放課後児童クラブの拡充 (P37 / No6)

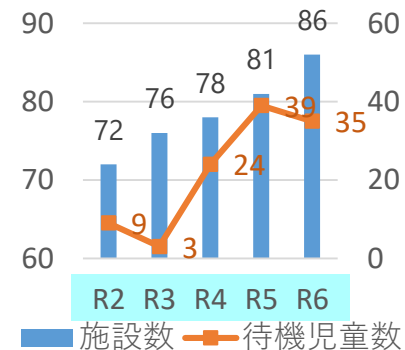
こども支援課

実績

- ・ニーズのある小学校区への施設の整備完了(R1: 68ヶ所⇒R6: 86ヶ所)
- ↓
- ・利用する児童数の増加
(R1: 3,050人 ⇒ R6: 3,556人)

課題・対応策

利用希望者が増加しており、依然として待機児童が生じている状況
(R6.5.1時点の待機児童35人)
⇒ 待機児童ゼロを目指し、引き続き、受入体制の充実を



○乳児保育、延長保育、一時預かりなどの充実 (P37 / No1~4)

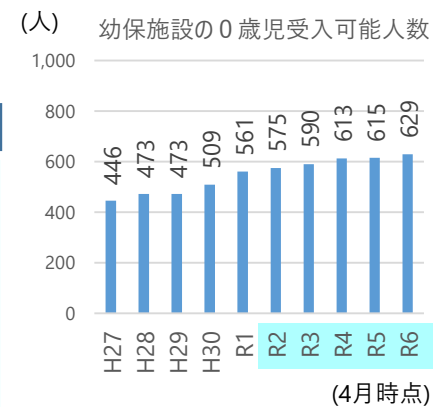
こども支援課

実績

保育需要に応じて、乳児保育、延長保育、一時預かりなどを実施

課題・対応策

子育て世帯の多様なニーズに対応した保育の充実
⇒ 保育人材の確保や民間事業者との連携により、更なる保育環境の充実を図る



○病児・病後児保育の充実 (P38 / No7)

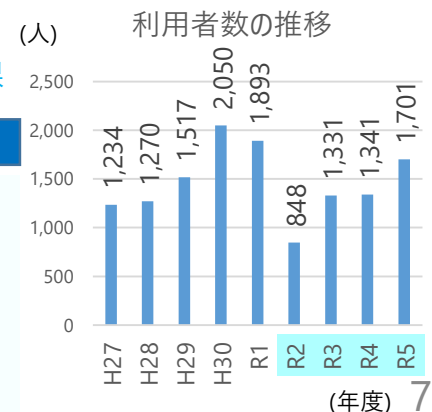
こども支援課

実績

市内4箇所の病院で、病児・病後児を受け入れ、就労と子育ての両立支援に寄与

課題・対応策

利用件数の増に向けたニーズの把握等が必要
⇒ 利用者・保護者などへのアンケートや病児・病後児保育施設へのヒアリングなどにより事業の充実を図る



3-(3) 基本施策Ⅱ－1 健やかな心が育まれるための支援

○子どもの人権の啓発活動 (P41/ No1)

こども家庭課

実績

リーフレットの作成・配付や
子どもの権利相談室設置に加えて
オレンジ＆パープルライトアップを
市内5箇所を実施することで、
子ども人権に係る啓発活動の実施

課題・対応策

市への虐待通告件数が少ない
⇒更なる周知・啓発活動が必要



○「いのちを育む教育」の推進 (P42 / 14)

こども家庭課

実績

「いのちの育む教育推進協議会」の
設置や、
助産師派遣事業及び保健師による
性教育の実施

課題・対応策

教育機関での「いのちを育む教育」へ
の取り組みがさらに必要
⇒協議会を通じ、
学校・地域との連携を強化していく



○教育相談の受付 (P42 / No10)

総合教育センター
(学校教育課)

実績

すこやか教育相談や、
子ども健康教育相談など、
家庭の状況に応じた相談を受付

課題・対応策

相談件数が多く、
相談体制の充実が必要
⇒スクールカウンセラー等との
連携が必要



3-(4) 基本施策Ⅱ－2 子どもが健康に育つための支援

○乳幼児健康診査 (P45/No1)

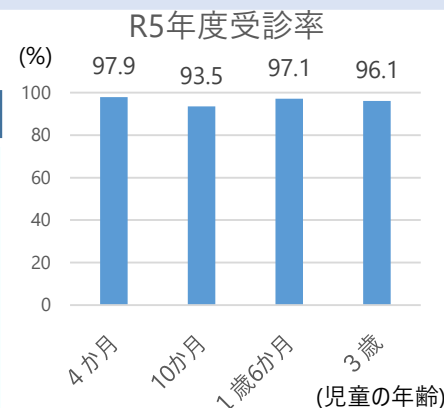
こども家庭課

実績

発達の日である「4か月児」「10か月児」「1歳6か月児」「3歳児」の時期に疾病の早期発見・健康増進及び子育て支援を目的に実施。

課題・対応策

10か月児健康診査が個別健診（医療機関委託）となり、受診率が導入後低下している。
⇒医療機関と連携し、受診率の向上を図る



○プレママ・プレパクラス (P34/No15)

こども家庭課

実績

初めて赤ちゃんを迎える夫婦に妊娠・出産・子育てについての講義や父親の役割、沐浴、妊婦体験を実施

課題・対応策

産院で両親学級を実施しているところが少ない
⇒多様なニーズに対応できるよう内容の充実を検討



○子どもインフルエンザ予防接種費の助成 (新規事業)

こども家庭課

実績

R4年度より、生後6か月から中学3年生を対象に子どもインフルエンザの予防接種費について助成（¥2,000/回）

課題・対応策

子どもインフルエンザ予防接種費助成の認知度が不十分（R5年度：33.9%）
⇒更なる周知の徹底を

いわき市 お知らせ

子どもインフルエンザ予防接種の助成について

感染症の蔓延化・合併症の予防を図るため、お子さんのインフルエンザ予防接種費用の一部を助成します。

期 間	毎年10月1日～翌年2月末日まで
対 象 者	いわき市に住民登録のある「生後6か月」から「中学3年生」までのお子さん
助 成 額	接種1回あたり2,000円（13歳未満は2回分・13歳以上は1回分）
自己負担	接種料金から助成額が差し引かれ、差額が自己負担となります。
接種方法	無料、手続は不要です。登録医療機関、電話等で予約接種をお願いします。
場 所	市内の登録医療機関
持 ち 帰	○母子（親子）健康手帳 ○乳幼児・子ども医療費助成受給者証 又はいわき市国民健康保険被保険者証
お問い合わせ	こども家庭課 又は 最寄りの地区保健福祉センター健康係まで

いわき市 こどもまんなか ことば家庭課 0246-827-8897

3-(5) 基本施策Ⅱ－3 切れ目のない療育支援

○障がい児保育・統合保育の充実 (P49 / No5)

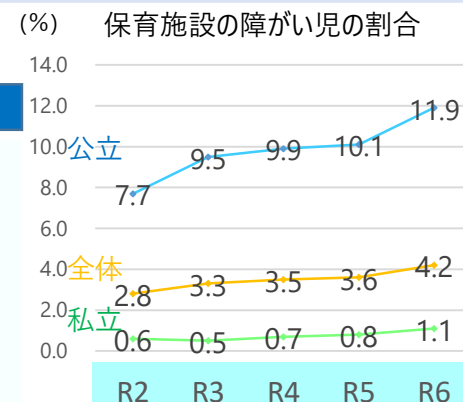
こども支援課

実績

保育所・幼稚園等における障がい児と健常児との集団保育により、双方の発達や障がいに対する理解を促進

課題・対応策

障がい児保育の受入児童が増加傾向にあるため、職員の人員確保やスキルアップが課題
⇒人材確保や人材育成を充実



○いわきっ子入学支援シート (P49 / No14)

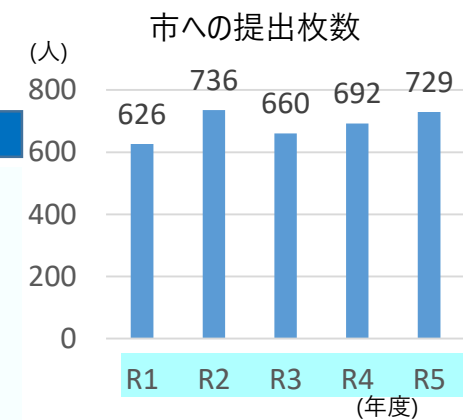
こども家庭課

実績

入学前の子どもの成長や発達の歩みなどを、保護者・療育機関・保育所等が協力してシートにまとめ、入学先に切れ目なく伝えることで、一貫性を持った配慮や支援を継続

課題・対応策

シートの提出が任意のため、必要な子のシートが提出されないケースが散見される
⇒シートの意義について保護者の理解啓発を図る必要がある



○おやこ教室 (P49/No8)

こども家庭課

実績

集団遊びによる子どもの発達促進と発達検査・個別相談の実施

課題・対応策

児童発達支援機関などが拡充してきている
⇒市として、より効果的に支援を届ける施策等の検討が必要



3-(6) 基本施策Ⅱ－4 確かな人間力を育む教育の推進

○次世代の教育情報化推進事業 (P53/No11)

学校教育課

実績

小中学校におけるICT環境を充実させ、ICT教育を実践

課題・対応策

校種間や学校間、教科間のICT活用に差異がみられる。
⇒効果的なICT活用事例の共有や研修による教員のICT活用指導力の向上を図る。



児童生徒1人1台配布のタブレット端末を、これまでの学校での活用に加え、持ち帰り学習を推進します。

○「学びの習慣づくり」推進事業 (P53 / No13)

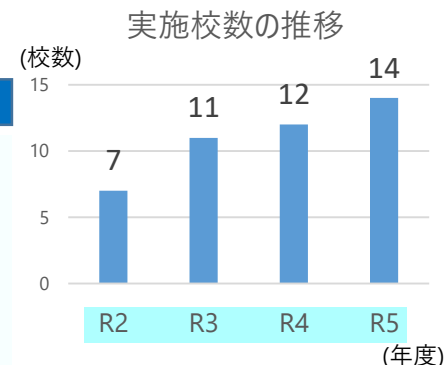
学校教育課

実績

生徒に一人学習の習慣を身につけさせ家庭での自主的な学習習慣の定着と基礎学力の定着を推進するため、放課後の学習機会を提供

課題・対応策

実際に生徒の対応にあたる学習会場運営員の確保
⇒あらゆる人材（学校教育に識見を有する者）に目を向け、学習会場運営員を確保。



○いわき志塾 (P54 / No16)

学校教育課

実績

小中学生の参加希望者を対象に地域人材との交流・協働による様々な学びの機会を提供し、「ふるさといわきを支える人財」を育成する。

課題・対応策

中学生に加え、「いわき志塾」への小学生の参加の機会を増やす。
⇒講話内容やワークショップを工夫し多くの参加者を募る。



各分野のスペシャリストらによるワークショップ等を実施し、児童生徒の興味・関心に応じた様々な学びの機会を提供し、視野を広げ、地域社会への理解と愛情を深められるようにするとともに、自らの生き方や社会の在り方を考える契機とする。

見学可
※要事前申込

3-(7) 基本施策Ⅲ－1 児童虐待防止対策の推進

○こども家庭センターの設置 (P56 / No1)

こども家庭課

実績

「児童福祉機能」と「母子保健機能」の相談支援を一体的に行う「こども家庭センター」を各地区保健福祉センターに設置。

課題・対応策

状態が悪化してからの虐待通告が散見
⇒ハイリスク者を早期に発見し、予防的な支援を提供

何が変れるの？

サポートプランを作成します
若年妊娠など、手厚く継続的な支援が必要な妊産婦や、児童虐待などの養育に必要な子育て世帯等に対し、サポートプランを作成し、面談等により対象者とプランを共有します。

「母子保健」と「児童福祉」の連携を深めます
これまでも「地区保健福祉センター」において連携を図ってきた「母子保健」と「児童福祉」の機能をより一体的に運営するため「統括支援員」を配置し、双方の分野の支援を必要とするケースは合同ケース会議を開催したり、協働でサポートプランを作成するなどして、より連携した支援を提供します。

○ヤングケアラー支援の強化 (新規)

こども家庭課

実績

ヤングケアラーの支援体制の強化を図るため、支援コーディネーターの配置及び訪問家事支援等を実施。

課題・対応策

ヤングケアラー等の相談件数が少なく、支援が届いていない潜在児童も
⇒講演会開催等による更なる啓発活動を

届りにこんなお友達はいませんか

「ヤングケアラー」について
「ヤングケアラー」とは、ふつうは人が行う家事や介護の役割などを、大人に代わって行う子どもたちをいいます。知らず知らずのうちに、家族のサポートを担っている子どもたちもいます。

相談窓口

母子相談	0244-22-7427
子育て相談	0244-34-2111
児童虐待相談	0244-63-2111
児童虐待相談	0244-63-2111
児童虐待相談	0244-27-7001
児童虐待相談	0244-32-2114
児童虐待相談	0244-83-1229
児童虐待相談	0244-27-7001
児童虐待相談	0244-28-3346

○要保護児童対策地域協議会の実施 (P56/ No2)

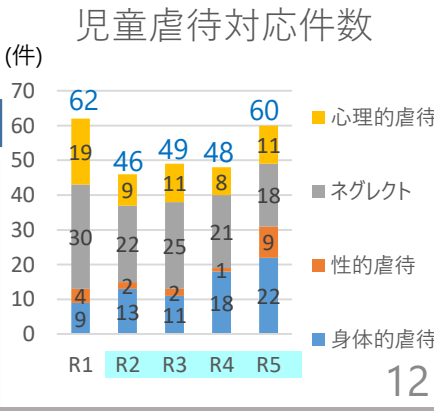
こども家庭課

実績

児童虐待発生時の迅速・的確な対応や情報共有のため、「要保護児童対策地域協議会」を設置し、関係機関との連携強化を図った。

課題・対応策

ケース数の増加、問題の複雑化
⇒関係機関との連携による早期発見、早期支援の提供



3-(8) 基本施策Ⅲ－2 子どもの貧困対策の推進

○子どもの学習環境整備事業 (P59/No2)

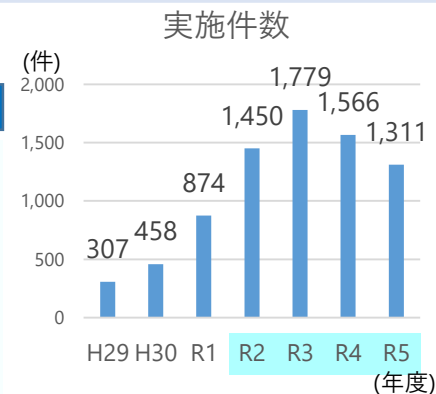
保健福祉課

実績

困窮世帯の中学生に対し、
週1回2時間の家庭訪問による
学習支援や生活相談、
保護者への養育相談の実施

課題・対応策

家庭環境等により申込に繋がらない
家庭もある
⇒ケースワーカー等との連携強化で、
利用の呼びかけを実施



○就学援助金 (P59/No8)

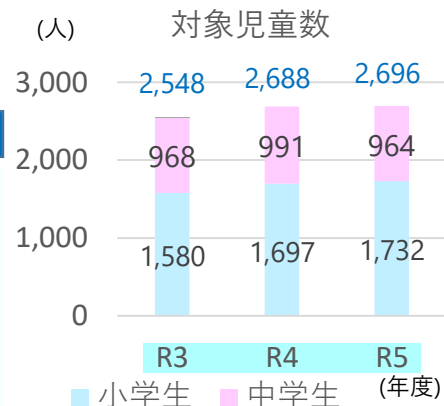
学校教育課

実績

学用品等の就学に必要な経費を
援助することで、
保護者の経済的負担の軽減を図った

課題・対応策

更なる保護者の経済的負担軽減が
求められる
⇒就学援助費の充実化を検討



○子ども食堂の運営支援 (新規事業)

こどもみらい課

実績

中間支援団体を通じて、
子ども食堂の開所や運営を支援し、
子ども食堂の施設数増加に繋がった
(R5年4月：11施設)
(R6年4月：16施設)

課題・対応策

運営団体が持続的に活動できるよう
サポートが必要
⇒事業者が寄付金を募る仕組みを
中間支援団体と構築



3-(9) 基本施策Ⅲ－3 ひとり親家庭等への支援

○ひとり親家庭への経済支援 (P61/No2～5)

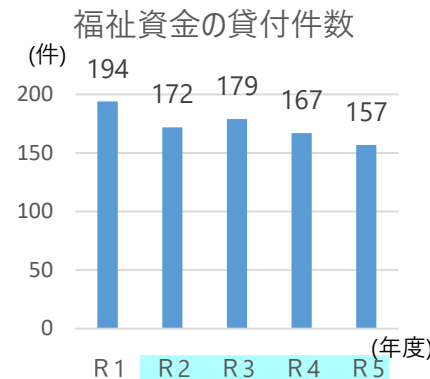
こども家庭課

実績

父子母子福祉手当、入学祝金及び奨学資金の支給や母子父子寡婦福祉資金の貸付により、ひとり親家庭への支援を実施

課題・対応策

福祉資金の貸付件数が減少傾向
⇒更なる周知で申請につなげ自立を促進



○ひとり親家庭への相談体制の充実 (P61 / No10)

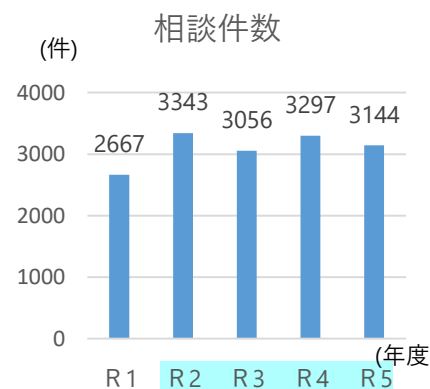
こども家庭課

実績

母子・父子自立支援に特化した相談員を設置

課題・対応策

生活援護に関する相談が中心
⇒適切なアドバイスにより自立を促進



○ひとり親家庭への自立支援 (P61 / No8)

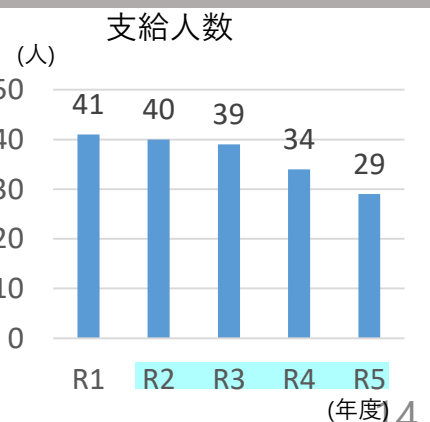
こども家庭課

実績

ひとり親家庭の親を対象とした、高等職業訓練を受けるための支援

課題・対応策

支給人数が減少傾向
⇒更なる周知で申請につなげ自立を促進



3-(10) 基本施策Ⅳ-1 共創による子育て支援

2 子育て支援に関わる人材の育成

○ファミリー・サポート・センター事業 (P63/No1)

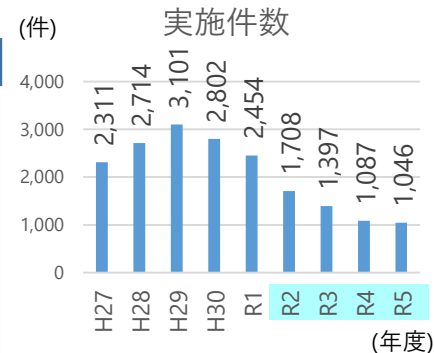
こども支援課

実績

児童の預かりを希望する依頼会員とサポートをする協力会員の相互援助活動を支援

課題・対応策

核家族や共働き世帯増加によりニーズがあるものの、
コロナ禍から件数が減少
⇒協力会員の確保を



○子育て支援員研修の実施 (P65 / No1)

こどもみらい課

実績

受講対象者を拡大し、子育て支援員認定者や幼保施設従事者等を対象とした研修を実施

課題・対応策

子育て環境や制度の変化に応じた、研修実施の必要がある
⇒今後も多様なニーズに応じた研修テーマ等の設定を

令和5年度 いわき市子育て・保育支援研修のご案内

- 主 旨
多様な子育て支援のニーズ等に対応するため、子育て・保育に関係する方々を対象に、子育てに関する基礎分野から専門分野における必要な知識・技能の習得と、更なる向上を目的として、『子育て・保育支援研修』を開催します。
- 対 象
(1) 子育て支援員認定者
(2) 幼保施設従事者(認可外保育施設を含む)
(3) 子育て支援団体
(4) 復職希望のある保育士・幼稚園教諭
(5) その他、関心がある団体・個人
- 受講方法 オンライン受講 (Zoom)
※ 研修終了後、期間限定(令和6年3月31日まで)でYouTubeによる配信も予定しております。YouTube視聴の申し込みも可能ですので、希望される方は、申込みの際にYouTube視聴希望を選択してください。研修実施後に、URLなどの詳細をお送りします。
- オンライン受講(Zoom)の定員 500名(先着順)

○夏休み保育等現場体験の実施 (新規事業)

こども支援課

実績

中学生・高校生を対象に、保育士としての現場体験や保育士との意見交換を実施

課題・対応策

現場体験から保育人材確保につなげていけることが重要
⇒ニーズに応じた事業の実施



総括 ～基本目標別～

基本目標Ⅰ

安心して子どもを産み育てるために

「母子保健コンシェルジュ」や「子育てコンシェルジュ」の
 配備体制の強化など、相談体制の強化ができた。
 ⇒ 必要な人への支援が届くためには、
 情報発信の更なる強化が必要。

幼児保育の待機児童が生じている。
 ⇒ 医療的ケア児も含めた統合保育の受け皿確保
 や保育士不足の解消などが課題。

基本目標Ⅲ

支援を必要とする子どもとその家庭のために

ヤングケアラーへの対応や、こども家庭センターの
 設置による「サポートプラン」の導入など
 複雑化する課題への対応を強化した。
 ⇒ 引き続きケースの早期発見、支援に努める。

就学援助費による支援など、教育の機会確保に
 努めた。
 ⇒ 更なる就学援助費の充実化を検討する。

基本目標Ⅱ

子どもが健やかに育まれるために

「子どもの人権」や「子どもの意見表明」に着目した
 施策を推し進めることができた。
 ⇒ 次期計画期間では、更に本格的な施策を
 推し進めることが求められている。

児童の障がいや発達の遅れの把握に取組み、
 適切な支援に繋がった。
 ⇒ 相談会受入れが数ヶ月先になるなどの要因と
 なる人手不足の解消が必要。

基本目標Ⅳ

子育てを地域全体で支えるために

中高生向けの夏休み保育等現場体験や
 学生や有資格者を対象とした合同就職説明会等を
 実施した。
 ⇒ 人材確保のため更なる取組強化を図る。

教育・保育の質の向上を図るため、各種研修や実地
 指導を実施した。
 ⇒ 不適切保育防止や子どもに寄添った支援のため
 知識や技能のアップデートを図る取組を推進